声

るアラブの春

で日本の姿勢が評価されているのは嬉しいことである。 内政干渉なしを貫く国は少ないのが現状である。 だ多くの問題を有している。 [1月号 特集「アラブの春」を読んで |焼身自殺を機に起こった、チュニジアの民主化を始めとす 民主化への道を踏み出したものの、 支援の必要性は必至であるが

まだま

からもその姿勢で支援を続けてほしいものである

そんな中

(愛知県/女性

63

るかは決まるのだと思います。 しょうか。これからどうしていくのか次第で、 ■「アラブの春」と言われているけれど、本当にそうなので に貢献していくことを望みます。 ODAはじめ (東京都/女性 春 日本がそれ と呼べ 31歳

来春は、 聞きしてきたことを高校生に伝えたいと素直に思いますね 教員をしている立場でも、 国際協力レポーターに応募したくなりました。 本の取り組みの現状を知ってほしいと思っています 高校生にもつと世界に視野を広げて、 遠く感じるものです。 日本との関 高校教員 高校の 見.

本誌へのご意見・ご感想や JICAへのご質問を お寄せください。

わかりやすく取り上げてあり、

自分の言葉で伝えてあげら

(鳥取県/女性)

39歳

(が子たちへ、識字の問題を話してあげたいと思います

(しなくちゃいけないの?)

と言う、

恵まれた環境にいる

「どうして学校へ行かなきゃならないの?」「どうして勉

特集

識字教育

「生きる力」を読んで、

(徳島県/男性

れそうです

つかり援助したい

の歴史を考えざるを得ない

先進国の責任ともいえる。

(大阪府

男性

45

|識字率の低いアフリカの地図を眺めていると、

アフリ

付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対す るご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・ 電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の 上、お送りください。ご記入いただいた個人情報は統計処 理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。 当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切:2012年6月15日

Email: jica@idj.co.jp

FAX:03-3582-5745(『JICA's World』編集部宛)

- ① ケニアの切り株のお皿
- ② 書籍『国境をこえた地域づくり』(p37参照)
- 書籍『「国際協力」をやってみませんか?』(p37参照)



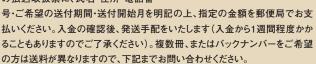


(1)

本誌をご希望の場合は 下記方法で お申し込みください。

申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担 いただく形でご送付いたします。巻末 の払込取扱票に、氏名・住所・電話番



申込先 (株)国際開発ジャーナル社 業務部(発送代行)

住 〒107-0052 東京都港区赤坂2-13-19 多聞堂ビル 所

Ε Т L 03-3584-2191 03-3582-5745 A X Email order@idj.co.jp

次号予告(2012年6月1日発行予定)

物的・人的資源が豊富で、日本企業の新たな投資先としても注目されている アフリカ。2013年6月の「第5回アフリカ開発会議(TICADV)」を前に、日本 国内でも関心が高まっているアフリカに対するJICAの支援を紹介します。

訂正とお詫び:2012年4月号の「特集」に誤りがありました。 (6ページ)ニウエの人口: 1,591万人→1,591人 クック諸島の人口: 2万2,600万人→2万2,600人 (14ページ)下写真の撮影者: 今村健志朗→久野真一 ここに訂正し、お詫び申し上げます。



MAY 2012 No.44

編集·発行/独立行政法人 国際協力機構 Japan International Cooperation Agency : JICA

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル TEL: 03-5226-9781 FAX: 03-5226-6396 URL: http://www.jica.go.jp/ バックナンバーはJICAホームページ(http://www.jica.go.jp/publication/j-world)でご覧いただけます。 本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。